

# あうんだより

デイサービスセンターあうん広報 / 令和6年7月

相談員 杉澤 琴美

暑い暑い夏がやって参りました！スタッフは暑さで汗ダラダラ、利用者さんは涼しいお顔…という恒例の風景が見られるようになっています。あうんはいつも熱気ムンムンに、この夏を乗り切っていきたいと思います。今号では、涼しさが懐かしい6月の活動をご紹介します。

## 草木染め第3弾!!



昨年の6月にたんぽぽ染め、10月に赤じそ染めに挑戦し、3回目となる今回は、玉ねぎの皮を使った草木染めに挑みました！

染める材料は、利用者さんに手縫いしていただいた晒の布巾。小石を芯にしたり折り畳んだりしてゴムで縛って思い思いに模様を付けていただき、皮を煮込んだ染め液の中へ。本当はもっと黄色くなる予定だったのに、なんだか茶色い気がする…と不安を胸にしまい込み、ミョウバンを溶かした媒染液に投入…おっ、黄色くなってきましたね！良かった～！！

媒染液から取り出してゴムを外すと、仕上がりに皆さんの笑顔がこぼれます。「もっと模様を付けたら良かったかな」「水玉模様可愛いね」とお互いの作品を鑑賞して会話も弾んでいました。自ら手掛けた作品の仕上がりを見るのはウキウキしますよね！

乾かしてアイロンをかけると更に色は落ち着き、なんだか美味しそうな香ばしい色合いに。例えるなら食パンの耳？草木染めは化学変化です。私たちは玉ねぎの皮から食パンの耳の色を生み出したのでした！



## 幸せの黄色いハンカチ

名寄の6月は雨や曇りが続き、なかなか晴天に恵まれず…。青天を待っていたのも、黄色い草木染めを目指していたのも、ある理由があるのです。それは、あの超有名な映画『幸福の黄色いハンカチ』のラストシーンを再現すること！！

布巾を染めたちょうど2週間後、適度に風が吹く青空がやってきました。2階の窓から地面までロープを張って、玉ねぎ染め布巾を飾ります。枚数は少ないけれど、黄色というよりは香ばしい色合いだけれど、風にはためく姿はまさしく黄色いハンカチ。

利用者さんも見たとたん「幸せの黄色いハンカチだね！」とわかってくださいました。ちょっと意外だったのが、利用者さんの多くがこの映画を観ていないこと。それでも、黄色いハンカチが吊られているのを見ると即座に『幸福の黄色いハンカチ』が頭に浮かぶのです。名作って偉大ですね！！心まで晴れやかになるひとときとなりました。



## 日々の食卓より



有難いことに6月はカレイやホッケなど釣りたて新鮮なお魚を沢山いただきました。この日の昼食のメインは、前日までオホーツク海の荒波を泳いでいたホッケを使った、ホッケフライ！！お魚屋さんを経営していた利用者さんが、3枚おろしを引き受けてくださいました。何と言っても新鮮なお魚の美味しいこと！贅沢な気持ちに浸らせていただきました。



ホッケフライ、マカロニサラダ、茹でアスパラご飯、味噌汁

## こぼれ話

私たちがあうんの活動で目指すことの一つに、『過去に経験したことを追体験する』ことがあります。経験や知識はその方が生きてきた証であり、その方を輝かせる力を持っているためです。今回、草木染めの布巾の模様を付けながらある利用者さんが子ども時代の思い出をお話してくださいました。終戦直後で何も無かったとき、小学校の先生が授業で樹皮を使った草木染めをして見せてくれた、というものでした。草木染めは化学変化です。人は化学を解明する前から草木の色を生活に生かしてきました。その先生は、教科書も資料も無い状況で、子供たちに人間の研究の成果を教えたくれたのです。そしてその学びは、80年以上経った今でもその利用者さんの記憶の片隅に確かに残っていて、今回私たちと一緒に草木染めをしたことで鮮やかに蘇ってきました。

利用者さんがこのお話をしてくださったことで、学ぶことの尊さを感じたと同時に、私たちの行事もしっかりと形作られたように感じられます。経験したことでも得られた知識や技術は決して廃れることのない財産で、私たちは利用者さんと関わることでその方の大切な財産を垣間見ることができます。私たちと利用者さんは、サービスを提供する側とされる側という一方通行の関係ではなく、互いに影響し合い補足し合っている関係にあるのです。

さて、今回ご紹介した内容も、インスタグラムに動画で載せております！頑張ってお知らせしておりますので、ぜひ見てみてくださいね☆